

IV. 購入商品の使い方（メイクテクニック）

J 中学生

マルチカラーのリキッドをチークとして
立体感を出す
実際にはマルチで使いこなすだけの
テクニックはまだない

リム入りを重ねてリムを濃くしたり
他のカラーの上に重ね塗りをする
※夏は白の上がよい

リムのせ方に工夫する
ex. 一粒だけのせる



マスカは何回も重ねづけし、乾いたらJ-Mでとかす

下まつげにもマスカ

リナーは濃い口紅、又は茶色の柔らかいアイブレイクを使う

グロスと口紅の使い方をいろいろ試してみる
透明のグロスを口紅の上に重ねるのがよい



アイブローは眉毛の薄いところをカバーする感じで使用

光の当たり方で輝きの異なるニュアンスパールを全体にうすくのばし、キラ感を楽しむ

マスカラは目尻を濃くセリ通りに仕上げる

グラーのソフトウの濃い色をアイライナーとして使う

グラーのアイライナーなら太く入れてもキレイ
目元がハッキリする効果大

学校に行く時もリップの上からパール入りのグロスをつけると
お洒落な感じになる

リップのかわりにグロス。グロスだけですませたり、口紅に重ねたりして使う

引き続き、ネイルアートが流行

まつ毛に対しブシを縦にして使う

ホ-ル全体に白や白パ-ルのシャドウ、又は肌馴染みのよいオレンジパ-ルやゴ-ルド系をつけ、カラーをのせる。下まぶたにもつける
そのまま、アイラインをきわだたせることもOK
白のシャドウは濃色のシャドウが“ハ-スル”に変身
夏はラメ入りの方が活躍する

暗目のニュ-アンスカラーは、目のきわに入れると落ち着く

ファンデ-の前に目の前に白パ-ルをつけるが
ファンデ-との馴染みが今ひとつ

眉頭は薄くふわっと眉尻は細くシャ-ブに仕上げる

黒のライナ-の上に、カラーアイラインをひく
アイカラーはベ-シックな茶か、カラーアイラインと同系色

白パ-ルのパウダ- (アイカラー) はいろいろ使えて重宝
ex. 眉下のハイライト
チ-クハイライト □として

アクセントに斜行カラーライン

クレヨンタイプのマルチパ-パスは、目の下のシャドウとして
又、リップのハイライトとしても使用

同系色濃淡のパ-ツルはアイカラー、ハイライト、アイライナ-と使えて
便利。但し、濃すぎるカラーは応用がききにくい
(淡いカラーは応用しやすい)

チ-クは、ほほ骨に入れてぼかしていく

グ-ロスは、パ-ル感などが強いと季節によって使いにくい
失敗したグ-ロスは透明グ-ロスをプラスして薄める感覚

ラメ入りグ-ロスはそれだけつけてもOK。重ねるのであればパ-ジュー
がオススメ。(ラメがきついほどよい)

透明感のあるネイルは、違うネイルの上に重ねて
変色のニュ-アンスを楽しむ

明るい色のびのよい口紅はラインを描かず、自然な感じでぼかしてつける

白のブ-ル-マニキュアはネイルア-トには欠かせない色

